

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護の基本V Fundamentals of Care V		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修) 介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護の基本Ⅰ～Ⅳ、介護過程Ⅰ～Ⅳ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
森 千佐子	福祉棟 2F	月・水・金曜日 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「介護の基本V」では、介護サービスの概要およびサービス利用のプロセスについて学習する。また、さまざまな介護サービス提供の場の特性について理解し、その場における介護福祉士の役割について考える。さらに、利用者を支える多職種の機能と役割、連携（チームアプローチ）の方法、地域における資源と連携の必要性および方法について学ぶ。				
授業の目標				
①高齢者および障害者に提供される介護サービスの内容を具体的に説明できるようにする。 ②ケアマネジメントの目的や構成要素、プロセスについて説明できるようにする。 ③介護サービス提供の場の特性および介護福祉士の役割について説明できるようにする。 ④介護実践における他職種の役割と連携、地域連携について説明できるようにする。				
授業の方法				
講義中心であるが、他職種および地域との連携が必要となるケアマネジメントの事例検討では、グループディスカッションやロールプレイを行う。				
学習の成果（学習成果）				
①介護を必要とする人の望ましい環境とは何かを考え、述べることができる。 ②介護サービスの概要や特性を踏まえ、利用者の状態や生活状況に適したサービスを選択することができる。 ③利用者が介護サービスを利用する際のプロセスについて、説明することができる。 ④介護実践における他職種および地域と連携する姿勢を持ち、利用者に必要な連携の内容や方法について考え、述べるができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など） 介護サービスの特性① 介護サービスの意味と特性			
第2回目	介護サービスの特性② ケアマネジメントの意味としくみ			
第3回目	介護サービスの特性③ 介護サービスの歴史の変遷と時代背景			
第4回目	介護サービスの特性④ 介護サービスの種類と提供の場			
第5回目	介護サービス提供の場の特性① 居宅系サービス			
第6回目	介護サービス提供の場の特性② 入所系サービス			

第7回目	介護実践における多職種連携① 多職種連携の意義と目的、他職種の機能と役割		
第8回目	介護実践における多職種連携② 利用者を取り巻く多職種連携の実際		
第9回目	地域連携① 地域連携の意義と目的、地域連携にかかわる機関の理解		
第10回目	地域連携② 利用者を取り巻く地域連携の実際		
第11回目	事例から考えるケアマネジメントの実際① 【講義】		
第12回目	事例から考えるケアマネジメントの実際② 【グループディスカッション】		
第13回目	事例から考えるケアマネジメントの実際③ 【ロールプレイ】		
第14回目	事例から考えるケアマネジメントの実際④ 【ロールプレイ】（試験）		
第15回目	事例から考えるケアマネジメントの実際⑤ 【まとめ】（ロールプレイの振り返り用紙を提出）		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、不明な点は質問すること。また、グループディスカッションやロールプレイに積極的に参加し、他者の意見を聴き自分の意見を述べること。
	レポート	10%	S評価のレポートは、ロールプレイの流れと自身の発言などを振り返り、実施したカンファレンスについて評価していること。また、学びや気づきが具体的に記載されていることである。（項目は授業で説明する）
	調査報告書		
	小テスト		
	試験	50%	穴埋め、記述、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。
	発表内容（態度含む）	20%	ロールプレイにおいて、準備が十分に行われ、役割の必要性が明確であること、役割に応じた発言をしていること、カンファレンスの流れがわかりやすいことなどが評価の視点である。
	その他		
教科書と参考図書			
教科書：新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」 中央法規出版			
履修上の留意点・ルール			
講義・演習ともに積極的に参加し、学びを共有してほしい。介護の基本Ⅰ～Ⅳ、介護過程Ⅰ～Ⅳの内容を十分に復習し、授業に臨むこと。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。			